

○計画期間：平成27年4月～平成32年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成27年4月以降、認定基本計画に基づき、「長崎特有の歴史と文化を活かした、魅力と活力のあるまちづくり」をテーマに全67の事業を進めている。

本市においては、平成27年に過去最多となった長崎港のクルーズ船の寄港数131隻を28年はさらに上回る197隻が寄港するなど、中心市街地の活性化を加速させる動きがみられ、入港時には大きな賑わいを見せている。

一方で、平成28年10月から12月にかけて JR グループと本県、本市および県内のその他の自治体で実施した「長崎デスティネーションキャンペーン」により、さらなる誘客および観光消費拡大の促進を図ったが、平成28年4月に発生した熊本地震により、開催期間中の主要宿泊施設の延べ宿泊客数が前年同期比マイナス6.4%となるなどの大きな影響を受けた。

そのような中、長崎市中心市街地活性化基本計画の主要事業の一つである新市立病院建設事業においては、平成29年1月に駐車場棟が完成し、「長崎みなとメディカルセンター」としてグラウンドオープンを迎え、年間外来実績数も開院以降増加傾向が続いている。

また、出島和蘭商館跡復元事業については平成28年10月に復元建造物6棟が完成し、熊本地震以降低下していた入場者数も回復を見せている。

出島表門橋架橋整備事業についても、周辺の中島川公園整備事業と併せた整備を進める中、平成29年3月に現地での架橋作業が完了し、平成29年11月の供用開始を目指して整備が大詰めを迎え、完成に合わせて開催する関連イベントも含めて賑わいの創出に大きく寄与することが期待されている。

一方、新大工町地区市街地再開発事業及び浜町地区市街地再開発事業においても事業の進捗が図られているところであり、現時点で直接的に中心市街地活性化へ寄与している状況にはないが、今後事業が進むにつれて徐々に周辺への波及効果が現れることが期待される。

2. 平成28年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

計画期間の2年目である平成28年度 of 取組については、全67事業のうち「新市立病院建設」「公衆無線LAN環境整備」「まちなか修景計画策定」の3事業が完了したほか、56事業が進捗している。

しかしながら、8事業が、当初の予定より実施時期及び支援措置に遅れが生じており、今後の事業推進に際しては、更なる遅れが生じることがないように、特に主要事業の進捗管理には万全を期していただきたい。

目標指標である「主要観光施設入場者数」については、熊本地震の影響で一時的に落ち込んだものの、その後は回復傾向が見られ、「歩行者通行量」については、増加傾向で推移していることから、計画全体の進捗は順調であると評価できる。

また、「歩行者通行量」においては、長崎港へのクルーズ船寄港に伴う外国人観光客の通行量増

加への影響、更には、「小売業販売額」においては、総販売額に占める大型商業施設の売上動向が指標に対してどう影響したかについても注視するなど、地域活性化への実効性に配慮した事業を着実に進めていただきたい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
まちなかのにぎわいの創出	一日当たりの歩行者通行量 (人/日)	平日: 133,211 人 休日: 125,438 人 (H26 年度)	平日: 140,100 人 休日: 131,700 人 (H31 年度)	平日: 140,294 人 休日: 145,197 人 (H28 年度)	①	①
商業の活性化	中心市街地における小売業年間商品販売額 (億円/年)	1,537 億円 (H26 推計値)	1,570 億円 (H31)	1,592 億円 (H26 実数値)	①	①
交流人口の拡大	主要観光施設入場者数 (人/年)	857,898 人 (H25 年度)	931,400 人 (H31 年度)	846,322 人 (H28 年度)	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①1日当たりの歩行者通行量（16地点の合計）について

・新市立病院建設事業においては、平成26年にI期棟、28年にII期棟が完成し、平成29年1月に駐車場棟が完成し、グランドオープンした。一方、新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業についても、今後の事業進捗が図られるよう支援を行うことにより、目標の達成を見込んでいる。

②小売業年間商品販売額

・平成28年度の実数値は現時点で判明していないが、平成26年商業統計調査による実数値は基準値として設定していた平成26年推計値を上回る結果となっており、今後も新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業への支援や、まちなか商店街誘客事業の取り組み等を着実に進めることで、目標は達成するものと見込む。

③主要観光施設入場者数

・平成28年度は熊本地震の影響で基準値を下回る結果となったが、出島和蘭商館跡復元事業においては平成28年10月に復元建造物6棟が完成し、出島表門橋架橋整備事業では平成29年度に表門橋が供用開始を迎える予定であるなど、概ね当初の計画どおりに事業が進捗しており、入場者数も回復傾向にあり地震の影響は一時的と考えられる。年次計画で進められているまちなか回遊路整備事業などの効果も含めて、目標は達成するものと見込む。

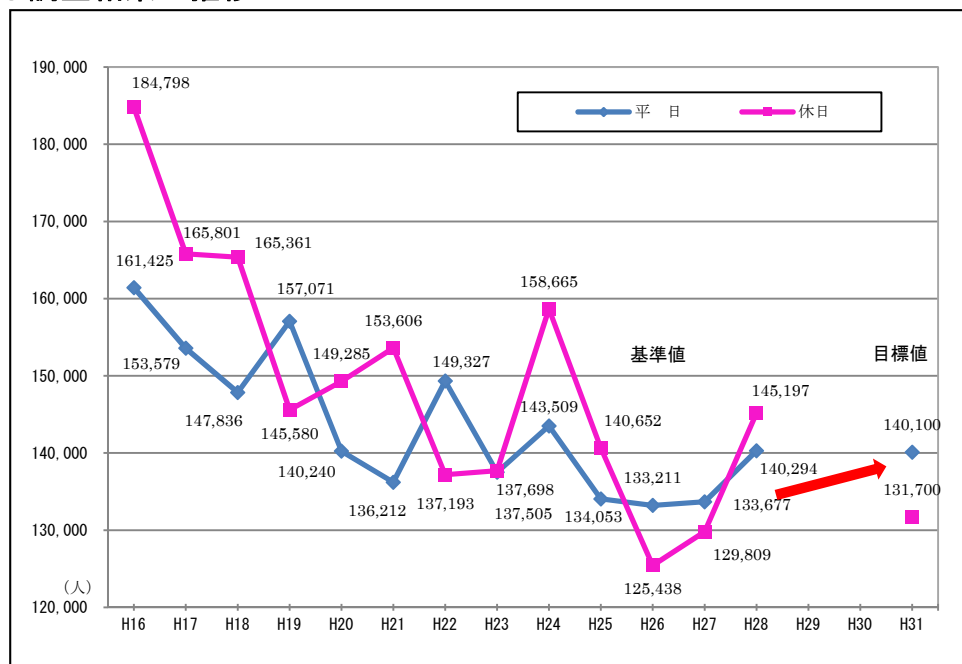
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回のフォローアップの実施から変更はない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「1日当たりの歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P56～P59 参照

●調査結果の推移



年	(単位: 人)
H26	平日:133,211 休日:125,438 (基準年値)
H27	平日:133,677 休日:129,809
H28	平日:140,294 休日:145,197
H29	
H30	
H31	平日:140,100 休日:131,700 (目標値)

※調査方法: 歩行者、毎年7月上旬の金曜日と日曜日の2日間、16地点において10時～18時で計測

※調査月: 毎年7月

※調査主体: 長崎商工会議所

※調査対象: 中心市街地16地点(浜市商店街、観光通り商店街ほか)における歩行者通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新大工町地区市街地再開発事業(新大工町地区市街地再開発準備組合)

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商業地である新大工町地区の中心的な商業施設を市街地再開発事業により更新することで、地域活力の維持向上と賑わい再生を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年1月に準備組合を設立。その後、平成27年7月に市街地再開発事業の都市計画の決定、平成28年9月の都市計画の変更を経て、今後本組合設立に向けた手続きが進められる。 事業完成による交流人口の拡大により、平日約550人、休日約300人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。

②. 浜町地区市街地再開発事業(民間事業者)

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	浜市商店街振興組合のエリアにおける、再開発やテナントミックスを踏まえたまちづくり構想に基づく、第一種市街地再開発事業による商業・住宅・駐車場の整備を行いまちなか全体への集客を促進する。

事業効果及び進捗状況	平成27年1月に準備組合を設立し、平成27年度に推進計画を策定しており、平成28年度は推進計画を基に合意形成に向けた検討が進められている。 事業完成による交流人口の拡大により、平日、休日ともに近接する6か所の調査地点において合計約6,000人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。
------------	--

③. 新市立病院建設事業（長崎市）

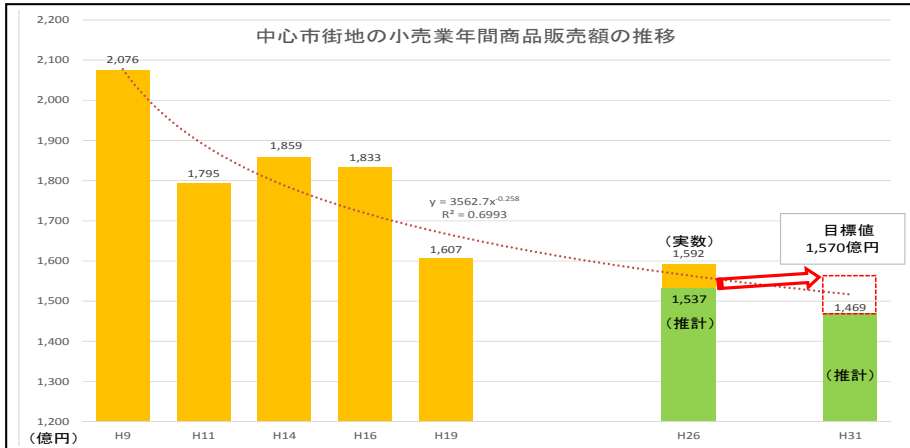
事業完了時期	平成28年度【済】
事業概要	老朽化、狭あい化した市民病院及び成人病センターを廃止・統合し、救急医療の充実、地域の医療従事者の教育支援及び地域医療連携強化を図るため、新市立病院を建設する。
事業効果及び進捗状況	平成26年2月にⅠ期棟が開院。平成28年2月にⅡ期棟が完成し、翌3月に市民病院と成人病センター両院の機能を集約しての運用開始を経て、平成29年1月に駐車場棟が完成し、グランドオープンを迎えた。 平成28年度の外来者実績は139,534人であり、平成25年度から8,272人増加しており、目標達成に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業のうち新市立病院建設事業においては、平成26年にⅠ期棟、28年にⅡ期棟、29年に駐車場棟が完成しグランドオープンを迎え、開院以降、年間外来実績数も年々増加している。また、長崎港におけるクルーズ船の寄港数が平成27年度に続き増加したことなどにより、平成28年度調査結果においては、歩行者通行量が平日休日ともに増加する結果となった。今後、新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業についても、今後の事業進捗が図られるよう支援を行ない、それと併せてそのほかの中心市街地活性化に寄与する各種事業の進捗を図り、目標の達成にむけて最大限努力していく。

「小売業年間商品販売額」 ※目標設定の考え方基本計画 P60～P68 参照

●調査結果の推移



年	(単位：億円)
H26	1,537 (基準年値)
	1,592 (実数値)
H27	—
H28	
H29	
H30	
H31	1,570 (目標値)

※調査方法：商業統計調査

※調査月：実施年

※調査主体：経済産業省

※調査対象：卸売業・小売業を営む事業所及び企業

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 交流拠点施設整備事業（長崎市）

事業完了時期	平成27～31年度【実施中】
事業概要	新長崎駅の隣接地において、大規模な学会や会議、地域住民が交流できるイベントなどを開催できる交流拠点施設を建設し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年3月に交流拠点施設用地（約24,000㎡）を取得し、その活用方策について、平成28年2月に「MICE機能を中核とした複合施設」とする活用方針を公表した。 この活用方針に基づき、平成28年度は対話型市場調査を実施し、民間事業者の提案や意見を聴取した。その結果を踏まえ、複合施設の詳細な内容について検討を進めていくために平成29年3月から事業者公募を開始し、事業者を選定することとしている。また、併せてオール長崎でのMICE誘致に向けた体制づくりを進めていくこととしている。 事業完成による交流人口の拡大の効果として、約20億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。

②. 新大工町地区市街地再開発事業（新大工町地区市街地再開発準備組合）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商業地である新大工町地区の中心的な商業施設を市街地再開発事業により更新することで、地域活力の維持向上と賑わい再生を図る。

事業効果及び進捗状況	平成26年1月に準備組合を設立。その後、平成27年7月に市街地再開発事業の都市計画の決定、平成28年9月の都市計画の変更を経て、今後、本組合設立に向けた手続きが進められる。 事業完成による周辺への波及効果も含め、約27億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
-------------------	--

③. 浜町地区市街地再開発事業（民間事業者）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	浜市商店街振興組合のエリアにおける、再開発やテナントミックスを踏まえたまちづくり構想に基づく、第一種市街地再開発事業による商業・住宅・駐車場の整備を行いまちなか全体への集客を促進する。
事業効果及び進捗状況	平成27年1月に準備組合を設立し、平成27年度に推進計画を策定しており、平成28年度は推進計画を基に合意形成に向けた検討が進められている。 事業完成による周辺への波及効果も含め、約65億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。

④. まちなか商店街誘客事業（長崎市）

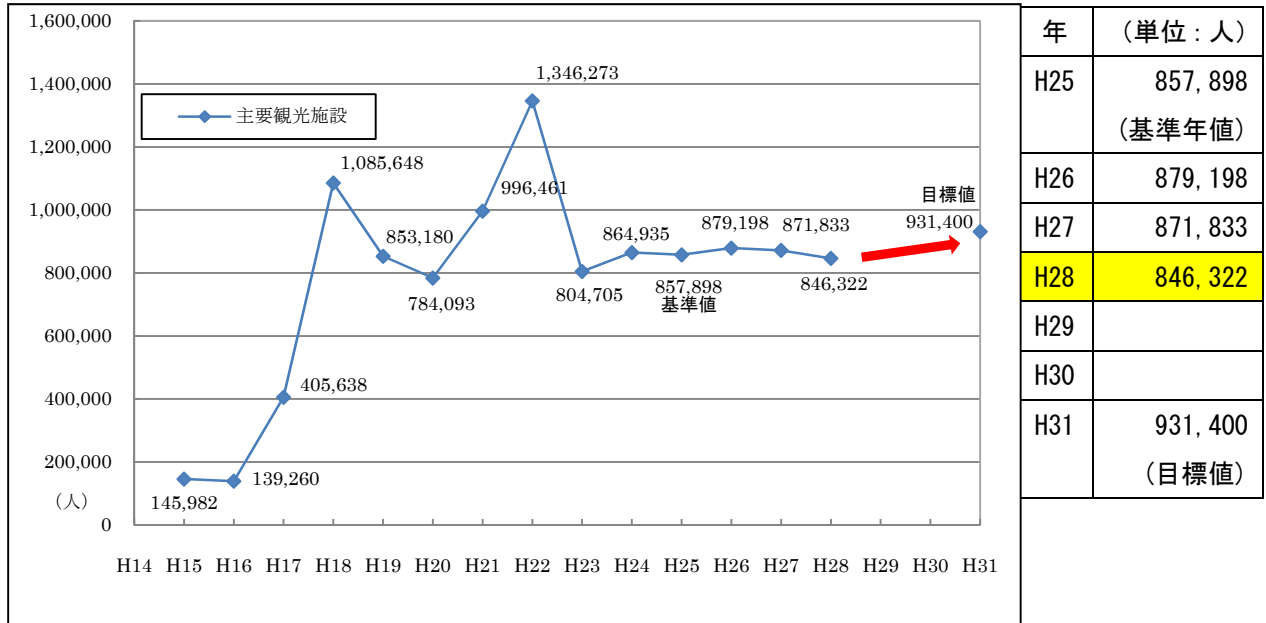
事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	中心市街地活性化基本計画エリア内において、商店街等が行う外国人観光客等の誘客促進への取り組みを支援する。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に実施したエリア内の小売店舗等を対象とする外国人観光客等の誘客に係る調査事業の結果を受けて、平成28年度から小規模事業者を対象とした補助事業を実施している。平成28年度は12事業者が取り組みを実施しており、計画期間中の継続した取り組みにより、外国人観光客等の滞在時間延長を図ることで約9億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成28年度の実数値は現時点で判明していないが、平成26年商業統計調査により確認した実数値は、基準値として設定していた平成26年推計値を上回っており、また、長崎市独自の調査等により把握する中心市街地内の大型商業施設における売上額も平成26年と比して平成28年は増加していることから、目標達成は可能であると思われる。今後も、民間主導の主要事業である新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業を支援し、まちなか商店街誘客事業による観光客等の消費拡大に向けた取り組み等を着実に実施することにより、確実に目標が達成できるよう取り組みを進める。

「主要観光施設入場者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P69～P72 参照

●調査結果の推移



※調査方法：市内の主要観光施設において毎月計測

※調査月：毎月

※調査主体：長崎県・長崎市

※調査対象：主要観光施設の利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 出島和蘭商館跡復元事業（長崎市）

事業完了時期	平成8～31年度【実施中】
事業概要	19世紀初頭の出島の復元を目指し、第Ⅰ期から第Ⅳ期に分けて復元事業に取り組んでいる。今回の第Ⅲ期事業の復元建造物6棟の建設により、当時の様子がさらによみがえり、これまで以上に観光客の増加と賑わいの創出が図られる。
事業効果及び進捗状況	平成26年8月に組頭部屋及び銅蔵をはじめとする第Ⅲ期復元建造物6棟の建築工事に着手したところであり、平成28年10月に完成し供用を開始した。(今後は第Ⅳ期事業に着手する予定であり、現在準備を進める。) <p>平成28年度の施設入場者数は熊本地震の影響が大きく、基準年の平成25年度に比べ約22,000人減少したが、今後各種イベント等との効果と合わせて13,150人の施設入場者数の増加を見込んでいる。</p>

②. 出島表門橋架橋整備事業（長崎市）

事業完了時期	平成25～29年度【実施中】
--------	----------------

事業概要	鎖国時代における唯一の西洋との窓口であった出島と対岸の江戸町を結ぶ架け橋として象徴的な建造物である出島表門橋の整備を行う。
事業効果及び進捗状況	出島表門橋と中島川公園（出島対岸部分）の設計業務が平成27年11月に終了し、平成28年1月から出島表門橋の本体工事に着手したところであり、平成29年11月の完成を目指している。 完成時にはPR等を積極的に行い、事業完了後は53,000人の施設入場者数の増加を見込んでいる。

③. まちなか回遊路整備事業（長崎市）

事業完了時期	平成25～34年度【実施中】
事業概要	歴史・文化・観光・商業など長崎固有の多様な魅力が詰まったまちなかを歩いて楽しいまちにするため、歩きやすさを確保しながら、まちの特徴に合わせた景観等に配慮した回遊路を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は、中島川・寺町エリアや銅座エリアにおいて計4路線の回遊路整備を実施し、回遊性を向上させる快適で安全な歩行空間が形成された。 今後も年次計画により事業の進捗を図ることとしており、出島和蘭商館跡復元事業や出島表門橋架橋整備事業、誘導サイン整備事業などの各種事業との相乗的効果により、計画最終年度には、7,350人の施設入場者数の増加を見込んでいる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業である出島和蘭商館跡復元事業や出島表門橋架橋整備事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能だと思われる。今後はまちなか回遊路整備事業や誘導サイン整備事業などとも合わせ、様々な団体との連携を図りながら地域の魅力向上の取り組みを実施することにより、確実に目標が達成できるよう取り組みを進める。